

六中の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第27号
校長 加藤 浩昭
令和6年1月29日

活動を通して成長する姿

① 能登半島募金活動を通して

前号でもお知らせしましたが、26日(金)まで生徒会による能登半島地震の募金活動が行われました。「被災者の置かれた状況に思いを巡らし、心を寄せる」という目的と同時に、「活動を創り、活動を通して成長する」という意味で価値のあるものであったと考えます。

特に下のようなことから、今回の活動の価値を実感させられました。

- ① 生徒会が主体となり募金活動をスタートさせたこと。
- ② 六中だけでなく学区の小学校にも呼びかけて、「六中学区として取り組みたい」という声上がり、生徒会の皆さんが各小学校の校長先生・教頭先生に依頼に行き、思いを実現させる動きが取れたこと。また、学区小学校の皆さんが賛同し、協力して下さったこと。
- ③ 「保護者の皆さんからも協力をしていただきたいので、連絡メールを流してもらえませんか？」と代表が依頼に来た際に、「メールを流すのは簡単だけど、生徒会の活動だから、もっとできることはないかな？」と問い返したところ、生徒向けの協力依頼ポスターをアレンジし、保護者の皆様にに向けたポスターを生徒自身が考え、作成してきたこと。結果、多くの保護者の皆様や地域の方にも協力いただけたこと。
- ④ 更に活動を広げたいということで、飽海地区8校の新生徒会役員が集まって18日(木)に行われた飽海地区生徒会連絡協議会の席上で、「せっかくの機会でもあるので、連絡協議会として協同募金活動ができないでしょうか?」という提案を六中生徒会が発信してくれたこと。

思いを繋ぎ、実際に行動し、活動を広げていく。自分たちの手で活動を創った生徒会執行部の皆さんに拍手を送りたいと思います。

26日(金)に行われた「中学校生活をする会」の際に、各小学校で集めてくれた募金を6年生が持参してくれました。右は浜田小学校の児童から募金を受け取る生徒会執行部の写真です。

今後、「六中学区」として被災地に届けさせていただきます。



② 飽海地区生徒会連絡協議会の様子から

六中生徒会を代表して6名の生徒が参加しました。会は2部構成で行われ、第1部は他校の実践に学ぼう～明日からのプラス1のために～。テーマの通り、8つのグループに分かれて各校の実践報告(プレゼン)を聞き、質疑応答後に課題についての改善策を助言し合うという内容でした。グループのメンバーを変えてこの活動を2セット実施しました。様子を見ていて感じたことは、六中の6名のプレゼン力、会への参加意欲の高さです。手前味噌ではありませんが、六中の6名が特に秀でてるように見えました。

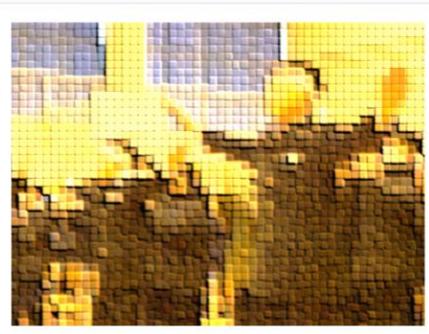
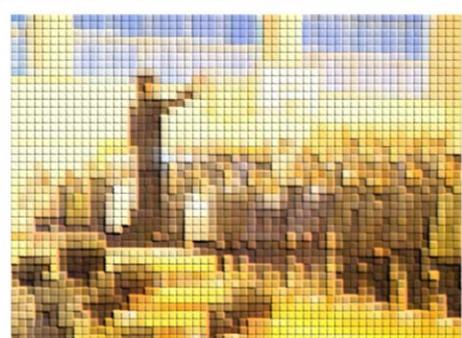
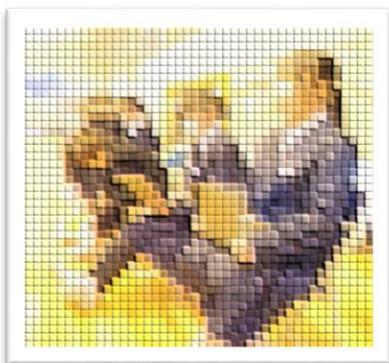
同時に、彼らが自信を持って会に臨めたのは、前生徒会役員を中心みんなの力で、様々な活動を創り上げてきた自信と誇りがあるからだと感じました。六中生を代表する6名の姿の陰に、

この1年の生徒会活動の頑張りを感じ取ることができ、大変嬉しく思いました。



③ 「中学校生活を知る会」に向けた1年生の動きから

26日(金)、令和6年度の新入生を迎え中学校生活を知る会が開催されました。



迎えられる側として参加した1年前の会を振り返りながら、「6年生に中学校生活についてより理解して欲しい」、「そのためにどうするか」、「どうしたら楽しく参加してもらえるか」…11月から学級で話し合い、学年でその話し合いについて検討し、みんなで準備を進めてきた会でした。様々な場面で1年生の成長を感じることができました。「校舎を回りたかった」という自分たちの思いを形にし、昨年はなかった校舎見学を取り入れました。体育館で学校生活についての説明を聞くグループと校舎見学をするグループに分け、時間で入れ替えて実施されました。部活動紹介を動画で行ったところにも工夫を感じました。道具の準備や人の入れ替えの時間を省略し、他の時間を充実させることにつながっていました。各部の動画もそれぞれに工夫され、みんなが登場しているところも良かったです。六中に関する10のクイズも楽しかったです。歓迎合唱の「カリブ夢の旅」・校歌も堂々と歌い上げました。そして最後は「青春応援団 Jr」による6年生へのYELL。入試激励会で2年生と一緒に取り組んだことを生かし、つないでくれました。

1年生みんなで創り上げた「中学校生活を知る会」。1年生の成長を感じました。

六中生徒の活躍

○令和5年度全国読書感想画コンクール山形県審査会
入選 河村 真衣さん(1-2)

「人魚に嘘はつけない」(半田 畔 著)

※右は真衣さんの作品です。

○令和5年度酒田の子ども奨励賞

伊藤 美穂さん(1-1)

梶原 照英さん(2-4)

五十嵐 絢さん(3-3)



※先週末あたり、本校でもインフルエンザの感染者の増加傾向がありました。すべてがA型でしたが、学級閉鎖をした他校ではB型の感染の広がりがあるようです。コロナもまだまだ油断ができません。予防、体調維持に努めましょう。発熱があっても登校し、早退しなければならなくなる例も見られません。発熱、体調が悪いときには早めの受診をお願いします。